

99-129

問題文

小児の髄膜炎による死亡や後遺症を予防することを目的として、平成25年から定期接種が行われることになったワクチンはどれか。2つ選べ。

1. 不活化ポリオワクチン
2. 麻しん・風しん混合ワクチン
3. インフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン
4. ヒトパピローマウイルスワクチン
5. 小児用肺炎球菌ワクチン

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

不活化ポリオワクチンの定期接種は、2012 年（平成 2 4 年）9/1 ～の開始です。平成 25 年からでは、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

麻しん・風しん混合ワクチン（MR ワクチン）は、2006 年から定期接種が可能です。平成 25 年からでは、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

ヒトパピローマウイルスワクチンは、子宮頸がんなどを予防することが目的です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

以上より、正解は 3,5 です。